

Health

ADVICE

橋本医師の

調子はいかが？

くらて病院 ☎ (42) 1231

くらて病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



健康診断で肺に影が見つかり、肺がんの疑いがあると言われました。
どんな検査や治療がありますか？ (65歳・男性)

肺がんの診断

肺がんは肺にできる悪性腫瘍でタバコを吸う人に多い病気ですが、最近はタバコを吸わない肺がんの人も増えてきています。一口に肺がんといっても、種類がいくつかあり、小細胞肺がんや非小細胞肺がん(扁平上皮がん・腺がんなど)に大別されます。症状としては、咳や痰が出る場合もありますが症状がないうちに進行しているケースもあります。

どのような検査をするのか？

レントゲンで肺がんが疑われた場合は、「肺の影」を詳しく見るためにCT検査をするこ

とが多いです。レントゲンに比べCTでは、肺のどこにどれくらいの大きさの影があるのかを確認することができます。影が小さかったりした場合は、時間をおいて再度CT検査をすることもあります。肺がんの診断をつけるためには、一般的に気管支鏡検査を行います。胃カメラのように口からカメラを入れて肺の奥に進め、肺の組織を採取します。採取してきたものを顕微鏡で観察し、悪い細胞が見つければ肺がんの診断となります。気管支鏡検査の際は少量の麻酔薬を使ってなるべく苦しくないように行い、施設にもよりますが、1泊2日から2泊3日程度で退院できることがほとんどです。

肺がんの治療は？

肺がんに限らず、がんの場合は、早期に見つかった場合は、進行して末期の状態だったと表現されることがあります。よくステージいくつと言われますが、肺がんの場合は、いわゆる初期がステージ1で、最も進行した状態をステージ4と表します。このステージは、腫がんの大きさや転移の有無によって決められます。初期であれば外科的手術ができますが、進行している場合は抗がん剤による治療となることが多いです。そのほか、場合によっては放射線治療を行う場合もあります。

肺がんは治るのか

近年では新たな抗がん剤も登場し治療法の幅は広がっています。仮に手術で肺がんを切除できたとしてもその後には再発することもあります。抗がん剤で小さくなった腫瘍がまた増大してくるケースもよくあります。ご自身やご家族の意向、患者さんの状態に合わせて緩和治療も含めた最適な治療法を検討していく必要があります。



「アドバイザー」

橋本 康平・はしもとこうへい・平成29年に産業医科大学医学部医学科を卒業後、平成29年4月から山口県徳山中央病院にて初期臨床研修を修了。産業医科大学呼吸器内科に入局し、産業医科大学病院、霧ヶ丘つだ病院を経て、令和4年4月よりくらて病院に勤務。

肺がんが疑われた場合は、CT検査や気管支鏡検査などが検討されます。肺がんと診断されたら、個々の症例に合わせて最適な治療法を検討します。肺がんに限らず早期発見が重要なので健康診断を受けましょう。

